

京都府教員等の 資質能力の向上に関する指標

京都府教育委員会

1 指標の構成

京都府教育委員会では、校種や職種に応じて、次の7つの指標を策定しましたので、該当する指標を資質能力の向上を図る際の目安としてください。

なお、特別支援学級の担任等については、それぞれの校種の指標とあわせて、特別支援学校の指標も参照してください。

■ 義務教育諸学校の指標

対象校種：小学校、中学校、義務教育学校

対象職種：首席副校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

■ 高等学校の指標

対象校種：高等学校

対象職種：首席副校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

■ 特別支援学校の指標

対象校種：特別支援学校

対象職種：首席副校長、副校長、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

□ 養護教諭の指標

対象校種：全ての校種

□ 栄養教諭の指標

対象校種：全ての校種

□ 事務職員の指標

対象校種：全ての校種

□ 校長の指標

対象校種：全ての校種

※ 指標の対象となる職種は、校長、首席副校長、副校長、教頭、事務長、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、事務職員及び講師（常時勤務の者及び地方公務員法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占めるものに限る。）です。ただし、教育公務員特例法施行令第2条に規定する臨時的に任用された者等を除きます。

2 指標におけるキャリアステージの考え方について

1 ステージの設定

教職員一人一人が採用されて以降、長期的な視点をもって、計画的にキャリアアップを図っていくためには、教職生涯あるいは職業生涯にわたる自らの成長像や節目を捉えることができる視点が欠かせないことから、指標には、成長段階として、5つのステージと目安となる採用後の経験年数等を設定しています。

このステージや経験年数等は、卒業後すぐに採用され、着任する教職員を例に設定していますが、教職員の着任時の年齢や経歴は様々で個人差があることから、一律に当てはめることが困難な場合も想定されます。このため、各教職員は、指標のステージや経験年数等を目安に、自身の経歴やキャリアを踏まえて自らが今どの位置にあるのかなどを常に省察しながら、キャリアアップを図っていくことが必要です。

また、教職員が一定の経験を積んだ段階では、一人一人の経歴や経験の違いにより、学習指導や生徒指導等の各分野や領域ごとの専門性に差異が生じてしまう場合が想定されますので、特に経験が浅い、早いステージにおいては、全ての観点の資質能力をバランス良く身に付けるよう努力することが大切です。

2 ステージごとに求められる役割と資質能力

各ステージにおいて観点ごとに求められる具体的な資質能力については、指標で示していますが、以下では、各ステージがどのような段階で、大枠としてどのような役割や資質能力が求められるのかを示しています。

3 教員のステージ

ステージ0（着任時・教職経験0年）

教職生涯の出発点において、教員養成課程を修了し、将来にわたって成長していく上で必要となる資質能力や知識の基本をしっかりと身に付けた段階であり、これらの資質能力や知識は、京都府教育委員会が任命権者として採用段階で志願者に求めるものであるとともに、大学等における教員養成の目標となるもの

〈求められる資質能力〉

- 児童生徒への教育的愛情、教職への使命感や情熱、教員という職に適した基本的な人間性
- 学習指導や生徒指導をはじめとする教育活動全般にわたる基本的な知識と基礎的な指導技術
- 京都府の教育施策に対する知識と理解、その実現に向け他者と連携して取り組む意欲と姿勢

ステージ1（初任期・教職経験1年～6年）

大学等で学んだ知識や指導技術を生かしながら、初任者・新規採用者研修や2年目研修等の受講、日々の業務遂行におけるOJT等を通して、学習指導や生徒指導等の専門性や指導技術等の基礎・基本を身に付け、教職生涯の基盤を構築する段階

〈求められる資質能力〉

- 教育公務員としての自覚・使命感
- 管理職や先輩教職員等から積極的に学び、その学びを自身の教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）に生かす力
- 校務分掌組織の一員として、責任を持って役割を果たし、学校運営に参画しようとする意欲・態度

ステージ2（中堅期・教職経験7年～15年）

研修や経験を通して実践的指導力を高め、自己の指導スタイルを確立し、ミドルリーダーとして校務分掌の業務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階

〈求められる資質能力〉

- ミドルリーダーとしての自覚・責任感
- 安定した教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）と課題に応じた工夫ができる実践的指導力
- 校務分掌組織の中心として他の組織とも連携しながら学校運営に積極的に貢献できる力

ステージ3（充実期・教職経験16年～24年）

研修や経験を通して実践的指導力をさらに高めるとともに、学校内外に幅広い視野を持って教育実践を発展させながら、校務分掌組織の主任等として学校経営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核教員としての役割を担う段階

〈求められる資質能力〉

- 中核教員としての、自己の役割と責任の自覚
- これまでの教育実践を省察し、さらに積極的に実践的指導力を高める姿勢を有し、自らの経験をもとに同僚や後輩教職員に適切な助言・支援ができる優れた教育実践力
- 校務分掌組織をまとめて導くリーダー性、分掌間の連携を円滑に進める調整力

ステージ4（熟練期・教職経験25年～）

豊富な経験と継続的な自己研鑽に裏打ちされた優れた教育実践力、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭等を含む。）として学校経営に積極的に参画する段階

〈求められる資質能力〉

- 学校内外におけるリーダーとしての自己の役割と責任の自覚
- 経験や高い専門性をもとに、広く周囲に適切な指導・助言ができる優れた教育実践力及び人材育成能力
- 企画力、実行力、分析力、判断力、リーダー性

学校経営に参画するためには、さらに以下の資質能力が求められます。

〈求められる資質能力〉

- 学校教育のさらなる充実に向けた改善意欲
- 学校教育目標の達成に向け、校長を補佐し円滑に組織を動かすマネジメント能力
- 教職員の服務、勤務時間、健康等の適切な管理ができる人事管理能力（管理職）

【採用からの年数の目安について】

- **ステージ1（初任期）**は、基礎・基本を形成する期間として、新規採用以降1年目から6年目として設定
- **ステージ2（中堅期）**以降は、キャリアラインの分かれ目となる40歳代半ばまでの期間を9年ずつに分け、前期の7年目から15年目を**中堅教諭等資質向上研修の対象となる期間を含むステージ2（中堅期）**、後期の16年目から24年目を**ステージ3（充実期）**として設定
- **ステージ4（熟練期）**は、キャリアラインが分かれる時期である40歳代半ば以降の期間として設定
ステージ4（熟練期）の中に、「**学校経営への参画**」として、学校経営に参画するために必要な資質能力の枠を設定

4 事務職員のステージ

職位を目安として、以下のとおりステージ0からステージ4までを設けています。また、ステージ4の中に、「学校経営への参画」として、学校経営に参画するために必要な資質能力の枠を設定しています。

ステージ0（着任時）

事務職員の出発点において身につけるべきこと、また、京都府が任命権者として採用段階で志願者に求めるものを示している。

〈求められる資質能力〉

- 良好な人間関係を築くことのできるコミュニケーション能力
- 学校事務についての基礎的な知識
- 京都府の教育施策に対する知識と理解、その実現に向け他者と連携して取り組む意欲と姿勢

ステージ1（初任期（主事））

事務職員研修や日々の業務遂行におけるOJT等を通して、学校事務についての基本的な知識を身に付け、事務職員としての基盤を構築する段階

〈求められる資質能力〉

- 公務員としての自覚・使命感
- 正確で丁寧な事務処理及び知識や経験による事務処理の工夫
- 校務分掌組織の一員として、責任を持って役割を果たし、学校運営に参画しようとする意欲・態度

ステージ2（中堅期（主任））

研修や経験を通して学校事務についての専門知識を高め、ミドルリーダーとして分掌事務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階

〈求められる資質能力〉

- ミドルリーダーとしての自覚・責任感
- 正確、丁寧、迅速な事務処理及び前例にとらわれない学校事務に関する課題の把握・整理
- 校務分掌組織の中心として他の組織とも連携しながら学校運営に積極的に貢献できる力

ステージ3（充実期（事務主任））

研修や経験を通して学校事務についての専門知識をさらに高めるとともに、校務分掌組織の中心として学校運営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核事務職員としての役割を担う段階

〈求められる資質能力〉

- 中核事務職員としての、自己の役割と責任の自覚
- 専門的な知識と多様な経験による的確な事務処理及び学校運営に係る事務の企画・立案
- 校務分掌組織をまとめて導くリーダー性、分掌間の連携を円滑に進める調整力

ステージ4（熟練期（専門幹））

豊富な経験と継続的な自己研鑽により、広い視野に立って業務を遂行し、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー（事務長、事務長補佐、共同学校事務室のリーダー等を含む。）として学校運営（経営）に積極的に参画する段階

〈求められる資質能力〉

- 学校内外におけるリーダーとしての自己の役割と責任の自覚
- 専門的な知識と豊富な経験により、広い視野に立った的確な事務処理及び学校運営に係る積極的な事務の企画・立案
- 企画力、実行力、分析力、判断力、リーダー性

学校経営に参画するためには、さらに以下の資質能力が求められます。

〈求められる資質能力〉

- 学校教育のさらなる充実に向けた改善意欲
- 学校教育目標の達成に向け、校長を補佐し円滑に組織を動かすマネジメント能力
- 教職員の服務、勤務時間、健康等の適切な管理ができる人事管理能力（管理職）

校長については、学校を統括する者としてのリーダーシップ等、校長に特に求められる資質能力を他の職と区別するため、別の指標を設けています。

指 標

義務教育諸学校

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期(1年~6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒理解や受容的・共感的な関わり必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わる事ができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同学年の教員と協力しながら、担任として責任をもって学級経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かした教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をすることで、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	【学校経営への参画】
中堅期(7年～15年)	充実期(16年～24年)	熟練期(25年～)	
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他教職員の模範となる良識ある言動ができる。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができる。</p> <p>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理ができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができる。助言・支援できる。</p> <p>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができる。助言・支援できる。</p> <p>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実につなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。</p>	<p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。</p> <p>○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p>	<p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</p> <p>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>
<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</p> <p>○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。</p> <p>○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に、他の教職員と協働して取り組むことができる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</p>	<p>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。</p> <p>○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。</p> <p>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</p> <p>○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。</p> <p>○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を行うとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動ができる。</p> <p>○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。</p>	<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。</p>	<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。</p>	<p>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。</p> <p>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動全体の進捗管理ができる。</p> <p>○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。</p> <p>○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。</p> <p>○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</p> <p>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</p> <p>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p>	<p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働して効率的な組織を構築できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。</p> <p>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を実践できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p>	<p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。</p> <p>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

高等学校

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期(1年~6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○教科・科目の内容についての専門的な知識がある。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぶとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を理解している。 ○生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	ホームルーム経営、生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒理解や受容的・共感的な関わり必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○ホームルーム担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わるることができる。 ○生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同年度の教員と協力しながら、担任として責任をもってホームルーム経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、生徒の希望進路の実現に向けた指導ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をすするとともに、生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期(7年～15年)	充実期(16年～24年)	熟練期(25年～)	【学校経営への参画】
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。</p> <p>○他の教職員、生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</p> <p>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</p> <p>○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</p> <p>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</p> <p>○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</p> <p>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。</p>	<p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。</p> <p>○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</p> <p>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</p> <p>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする生徒への支援を含め、あらゆる生徒に対する、ICT等を有効活用したユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p>	<p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</p> <p>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</p> <p>○特別な配慮を必要とする生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>
<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</p> <p>○教科・科目に関する高い専門性を有し、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、効果的な授業を行うことができる。</p> <p>○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。</p> <p>○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組む、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</p>	<p>○「教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。」</p> <p>○生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえつつ、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。</p> <p>○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。</p> <p>○生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。</p> <p>○担任として生徒一人一人が尊重されたホームルーム経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導ができる。</p> <p>○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。</p> <p>○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。</p> <p>○不登校やいじめ等の生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。</p> <p>○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、効果的な教育活動全体の進捗管理ができる。</p> <p>○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</p> <p>○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。</p> <p>○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。</p> <p>○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。</p> <p>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に参画できる。</p> <p>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</p> <p>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となる業務を遂行できる。</p> <p>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p>	<p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的に効果的な組織を構築できる。</p> <p>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。</p> <p>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</p> <p>○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</p> <p>○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p>	<p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。</p> <p>○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。</p> <p>○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

特別支援学校

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期(1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○一人一人の児童生徒を大切に、ICT等を有効に活用して、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、ICT活用、学習評価	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。 ○それぞれの障害の特性を理解し、個別の指導計画や教育支援計画について基礎的な知識を有している。 ○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。 ○学習評価に関する基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく授業ができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育、情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒理解や受容的・共感的な関わり必要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○それぞれの障害の特性を理解し、生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。 ○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する児童生徒の個性や学齢に応じた個別指導と集団指導に取り組むことができる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わる事ができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○同学年の教員と協力しながら、担任として責任をもって学級経営ができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期(7年～15年)	充実期(16年～24年)	熟練期(25年～)	【学校経営への参画】
<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動にに関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に助言・支援できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。 ○ICT等を適切に活用した、正確かつ効率的な校務の処理について、他教員に指導・助言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用して、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○一人一人の児童生徒の特性に応じ、ICT等を有効に活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究について、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく効果的な授業ができる。 ○各教科等の指導において、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に、他の教職員と協働して取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができ、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等について、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に不断に取り組み、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。 ○児童生徒の興味を引き出す教材研究や授業研究等を学校全体の取組として推進できる。 ○障害の特性を理解した個別の指導計画に基づき、ICTの有効活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による、児童生徒中心の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として児童生徒一人一人の特性に合った学級経営を推進するとともに、学部全体の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて的確に指導できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に助言・支援できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。 ○情報モラル教育について、他の教員に的確に指導・助言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○不登校やいじめ等の児童生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動全体の進捗管理ができる。 ○情報モラル教育について、学校全体の取組として推進できる。
<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつづ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働して効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。

養護教諭

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期(1年~6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT等を有効活用し、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。
養護教諭 としての 専門領域	保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用、情報モラル教育	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭の職務や役割についての基礎的な知識を有している。 ○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応について、専門的な知識に基づき対応できる。 ○学習指導要領等及び学校保健安全法や保健管理、保健教育について基礎的な知識を有している。 ○健康相談や保健指導の基本的な方法を理解している。 ○保健組織活動の意義と重要性を理解している。 ○児童生徒理解や受容的・共感的な関わり的重要性を認識し、基礎的な知識を有している。 ○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務の改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。 ○情報モラル教育についての基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の怪我や病気、事故等の対応について、専門的な知識に基づき、的確に対応し、指導できる。 ○児童生徒の発達段階に応じた健康課題を把握し、適切に対処できる。 ○保健教育における自身の役割を理解し、専門性を生かした保健教育ができる。 ○健康相談の基本的な過程を理解し、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談を実施できる。 ○保健室経営計画を作成し、児童生徒の課題に応じた保健室経営ができる。 ○保健組織活動を推進できるよう、企画運営に参画できる。 ○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わりあうことができる。 ○児童生徒の変化に気づき、不登校やいじめ等の課題の解決に向けて、他の教職員と協力して対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして基本的な業務ができる。 ○情報モラル教育について、教育活動全般を通じて指導できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力の育成を意識した指導ができる。